

愛媛県全体のバランスシートの概要

1 対象会計範囲

普通会計のほか、次の会計を対象としています。

- ・ 電気事業会計
- ・ 工業用水道事業会計
- ・ 土地造成事業会計
- ・ 病院事業会計
- ・ 港湾施設整備事業特別会計

2 作成方法

- (1) 各会計の併記方式を基本とし、単純合計及び純計を参考に示してあります。
- (2) 純計を算出するに当たり、会計間の資金の移動に過ぎない貸付金・借入金、投資及び出資金・繰入資本金については相殺しています。
- (3) 電気事業会計、工業用水道事業会計、土地造成事業会計及び病院事業会計については、個別の会計ごとにバランスシートが作成されているので、既存のデータを活用しています。
- (4) 港湾施設整備事業特別会計については、普通会計に準じた方法で作成しています。

3 概要

平成15年3月31日現在の普通会計と公営事業会計を合わせた県全体の資産総額は2兆6,637億円、負債総額は1兆1,416億円、正味資産は1兆5,221億円となっています。

また、社会資本形成の世代間負担比率は、次のとおりとなっており、普通会計と同様に地方債による負担割合が上昇しています。

(単位：百万円、%)

		13年度	14年度
有形固定資産残高	A	2,423,685	2,477,858
地方債残高	B	893,615	955,297
地方債による整備割合	B / A	36.9	38.6